



元 4877
 3
 又 1150
 4



京吉里中目録

吉田 付録

白下

新見

永親堂

南福寺 付録

東福寺 付録

稲荷

藤森

伏見

宇治

八情
 山崎
 大原
 高野の奥塚

白河

白河はちうせんこうのけさる也がのまはけ男た
りをたなひしとん

ちのあうごおちそをたさうの白河を

一志り成まてのなまよしそまなれ

とのくら白河ははせのりあよ院の西あをつて

とませあへんは掃され六方ぬまの掃とふ

とけいあしあわぬ

まはらちや白河石し小朱花



まはらち



ようくりんだり

花子目やこりり佛下向え

永親堂
 あと御持るころしと也永親神のあらんころしと
 御持持去のころしととらり大和の南麻さしおあ
 也とらとれ糸とととらるゆんだらと南麻乃まんたらの
 あまのころしとととらりゆと云い永親ゆたの時の見え
 だ仏にあぶゆたありてゆととらりゆひとらゆた
 とらりゆたの糸乃世まてたがまゆはをまへるは又
 永親神師のゆた物と十周とらりふまゆあり

南禅寺 付喜蓮院

瑞珍山南禅寺の龍巻園脚乃つてこそ。その内
 のつとせらうこの金塔院の縁のさうりくさうりこえ
 それわきまき院よさうかふあ、ちいさき縁のゆあ
 あをせしませあふゆる也。内よこ申一とゆるひんら
 らい免あふりまきいひらあこまのさうりくさうり
 うかさまのひんらうらうらあはすのさうりくさ
 ふかよう。 い三甲せんきや大師の也

ねた子乃と一ありとて花とみ
 心のさうりか徳とゆりくはんめ

あんぜんし





例^{れい}りて。い^いまも神^{かみ}事^{こと}乃^のりは。ち^ちま^まり^りと^とり^り神^{かみ}
 供^{とも}もあ^あん^んた^たて^てま^まら^らと^とあり
 ろ^ろま^まの^のま^まあり^りれ^れ茶^{ちや}屋^やの^のう^うと^とり^り腰^{こし}
 わ^わと^とり^りし^しし^しし^しの^のひ^ひつ^つと^とあり

友の森

友の森
 友の森乃里とてくふよむうの素の素とて思
 ひつらつらとありれおきうりをとらうとてうも
 おか先あるひのかりよとてやいさうんのためひ
 わりひの登る道の橋へおわたりて海をうれうら
 かりふくくさのりていふからきつていふ方とてくさくさ
 志してたゆゆらとて友の杜乃の神是ふ素及天守あり
 友の杜乃六月六日とてまうとていふ神は御具八所の
 肉の一神あり

神を認むたりやねり友の森



ふちのもり

伏見

狂言

朝人々るれいふいままうりあ

伏見乃さこの名といたのまう

あーと山松乃うけいりりこまこさハ

あらくの田圃うりあさうをそり

伏見山あまのりあさうあさうり

けうくにゆらう活乃川波

花よ町くまや舞乃あーと山

たむらひのまうりあ

三かんせい

ここのまうりあ



伏見

伏見

伏見

時大りて茶碗ちawanよのこまらわらふ者ものとていひよとてい
ぬまばわきひらりけし申まをありがわにうんききまてかめんよ
つし人あもめで吾て公乃うらめはあやまりと。胸を
とどわまねせしうてまゝ一人よさらう。時ときはこころたき
まあり。うららの名よけいぬわたりとあり
一とく姫とつひはけしうつあ乃社也。あやわらうをたふ
籠りまらむ。佐吉の明神あきみあり。うおくけしう。姫よがま
またまらんあしあり

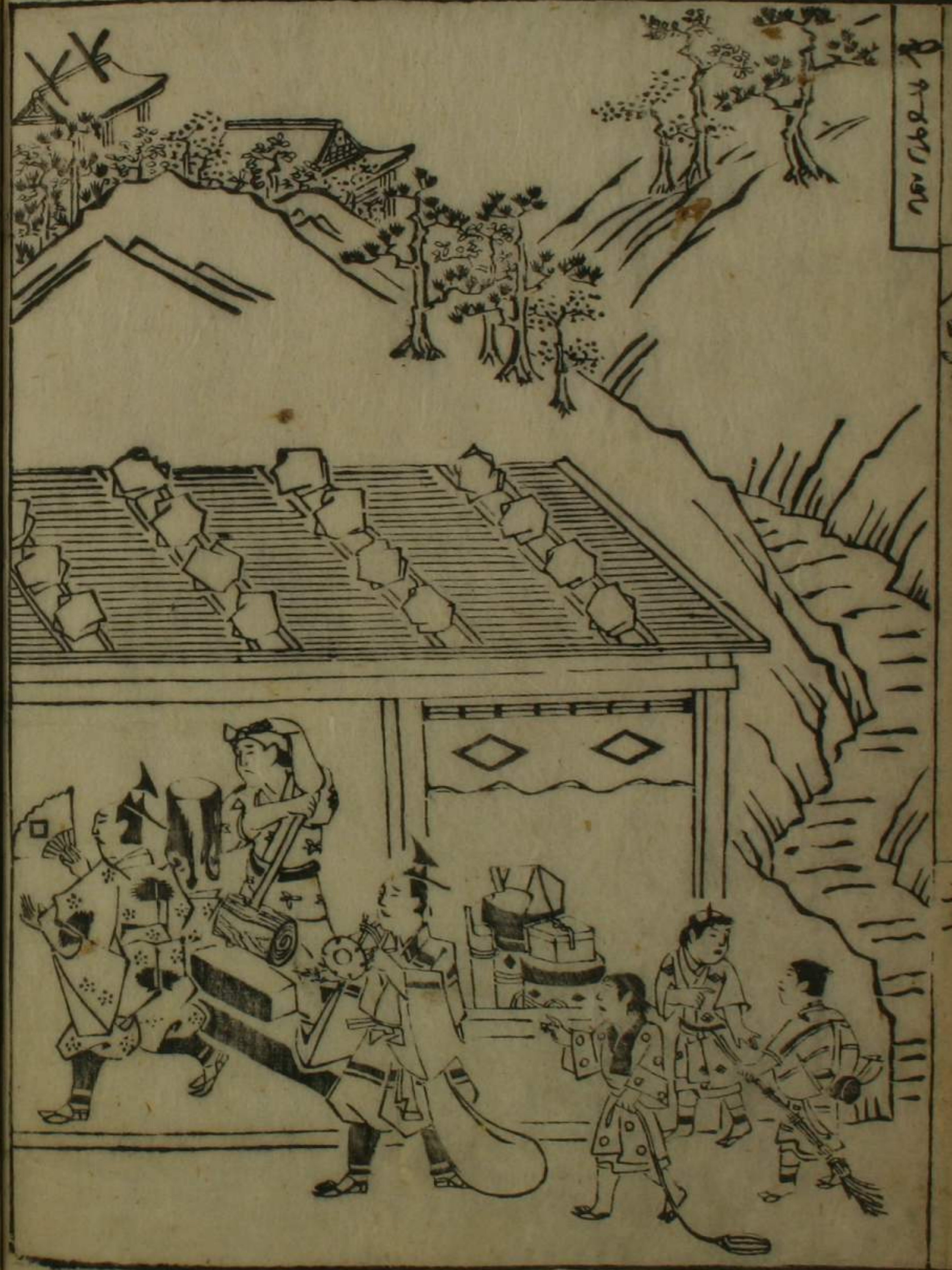
古く集むらまじりうめなうてきこころひもわ
まねまきまらうんう路のうて姫
平右衛門へいゑもんう路のらんがくぬのゆらんつら。志志人の

傍そば助すけちのりあり。いばあり。金糸糸集きんいとあひま雑ざつのう
忠史ちゅうし法師ほうしうらの平へいな海うみ乃のちまにありて。う路ろま
伯お村むらとひえ乃の山やまはくこまがうたわのまて

う路ろ乃のまてこのころのうとありとあり
ねまうくふらそちひーま

一い庭にわの芝しば乃のりまうこはどのああり
むりまの乃の花はなうていしてありりー
あいのありとそとありとありけら

一い朝あさ日ひ乃ののち
あしこはう路ろの川かみ帯おびたらとめく
おんあよこゆの釣つり目め乃のくれ 持も大だい綱なわををら真ま



大原

大原

けいせいおぼろしきあひあひのうらみさかきとあざと
 うらみさかきあひあひのうらみさかきとあざと
 としあひあひのうらみさかきとあざと

大原

大原

らぬ梢それかりり乃やま
 大原やうかのかのさかきとあざと
 神代乃ねりりふあさきとあざと
 多しあひあひのうらみさかきとあざと



大ら

こち
 車風ちけらあし西ちらう

MS. 1012

清子哉
 まつりとの風乃たよりあしを今も
 らるる神代をさうぬらふあふ
 ましや乃山はもて流あふたり
 いあよかんせんさうらのこせいあり。又西の山
 めでーさうらあり

